

## 形成計画の今後の進め方（平成29年度からの取り組み）

目 標		平成29年度からの取り組み(拡充・新規 など)
① KTRの持続可能な事業スキームによる再構築		
a	上下分離による鉄道事業の再構築等	(以下の取組により、形成計画の目標である ③①利用人員200万人を目指す)
② 公共交通ネットワークの形成		
b	圏域へのアクセス時間の短縮	◆クルーズ船の舞鶴港入港時の臨時快速の運行【丹鉄】 ◆京都駅からの直通高速バスの天橋立・伊根ライナー運行(4/15～5/31)【丹海バス】 ◆城崎温泉・天橋立ぐるりんパスの発行【JR、丹鉄】
c	公共交通ネットワークの利便性向上	
③ 安心・安全対策の実施		
d	安心・安全に向けた設備・体制の整備	◆国及び自治体からの支援による鉄道施設等の更新、安全対策の強化(列車無線設備更新、信号機のLED化、宮津駅の跨線橋 等)
④ 集客・増収対策の実施		
e	魅力的で快適な車両等の整備	◆くろまつ号のコースを4月からリニューアル(圏域外からの周遊と地元利用の双方を促進)【丹鉄】 ◆「丹後の海」5編成目の導入(平成29年度中を予定) ◆駅待ち環境・駅施設の改善 ①駅舎改築(丹後由良駅【宮津市】、久美浜駅【京丹後市】) ②駐輪場改築(小天橋駅【京丹後市】) ③駅売店の再開(宮津駅【宮津市】) ◆訪日外国人旅客向け企画乗車券「JR-WEST RAIL PASS」の対象エリアに参画【丹鉄】 ◆丹鉄ホームページの観光情報、運行情報等の発信の強化【丹鉄】 ◆高齢者片道上限200円レールの制度拡充(片道利用を可能に) 【宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町】
f	快適性・利便性・魅力の向上	
g	ターゲットを明確にした取り組みの実施	
h	沿線の事業所、住民等と連携した地域主体の取り組み	
⑤ まちづくりと都市・地域間の連携		
i	コンパクトなまちづくりと都市・地域間の連携	◆京都府北部地域連携都市圏の取組の推進 ◆海の京都クルージングフェスタなどの開催 ◆伊根町観光交流施設のオープン(4/11～) ◆海の京都DMOによる誘客プロモーション、旅行商品づくり ◆天橋立アクティビティセンターのオープン【天橋立観光協会】
j	海の京都等による観光まちづくり	
k	環境にやさしいまちづくり	